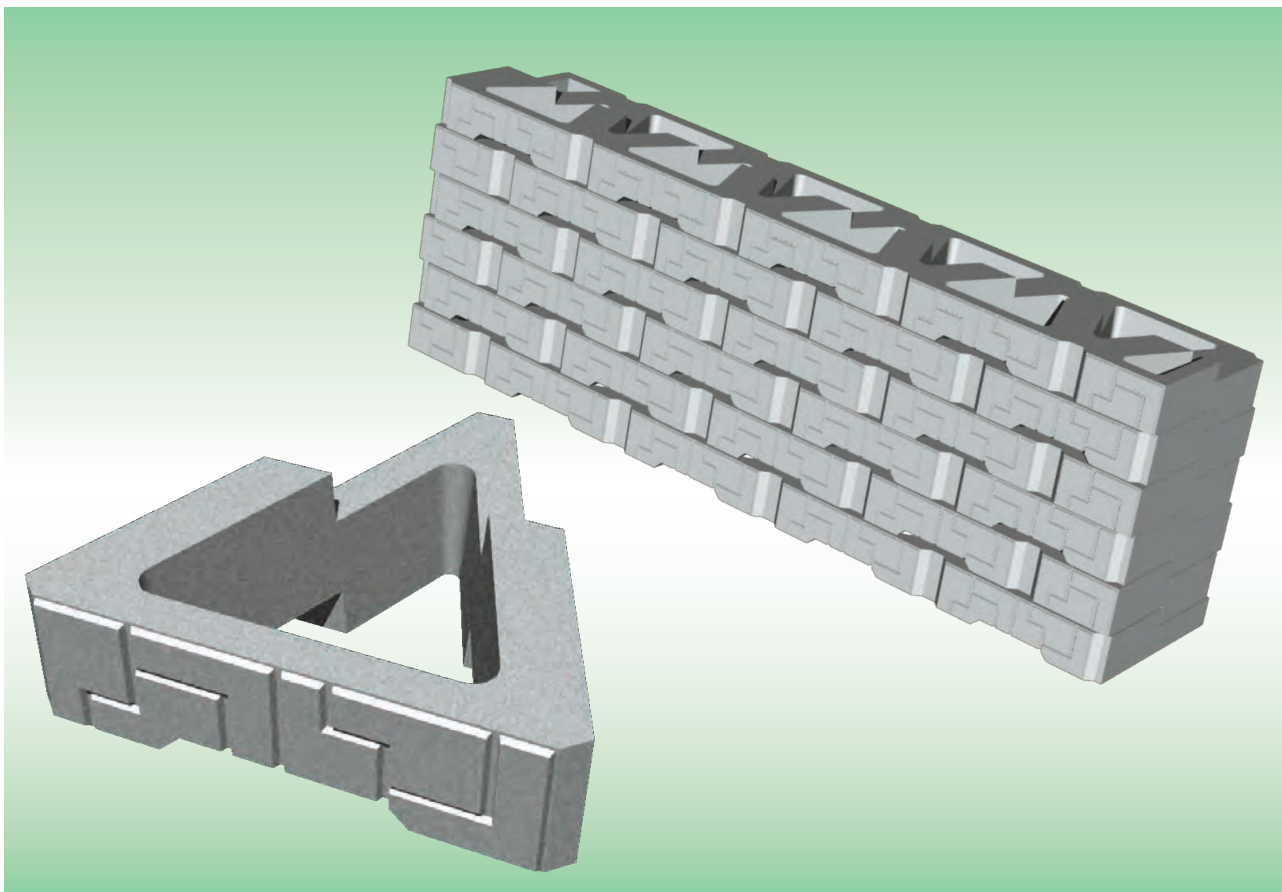


△式土留擁壁

デルタフレーム

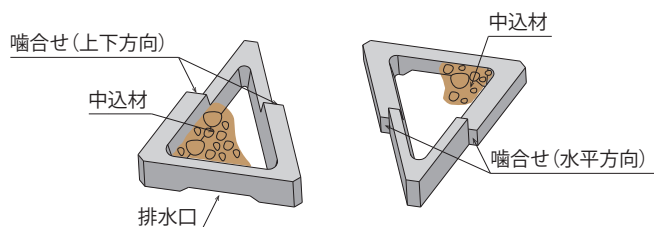


三角形桁をトラス状に組み合わせ構築
 枠内に割栗石や碎石を充填して安定を保ちます

特長

- ① フレキシブル構造のため耐震性に優れています。
- ② 噛み合わせ構造により排水性・通水性に優れています。
- ③ 積上げ段数（擁壁高さ）の増設が安易に行えます。
- ④ 除去・移設が安易に行えます。
- ⑤ 施工が早く工期が短縮できます。
- ⑥ 施工時のスレージング（仮設足場）が不要です。

構造概要



中込材	粒径	備考
割栗石	φ200~300mm	—
碎石	φ30~40mm	目つぶし用

設計条件

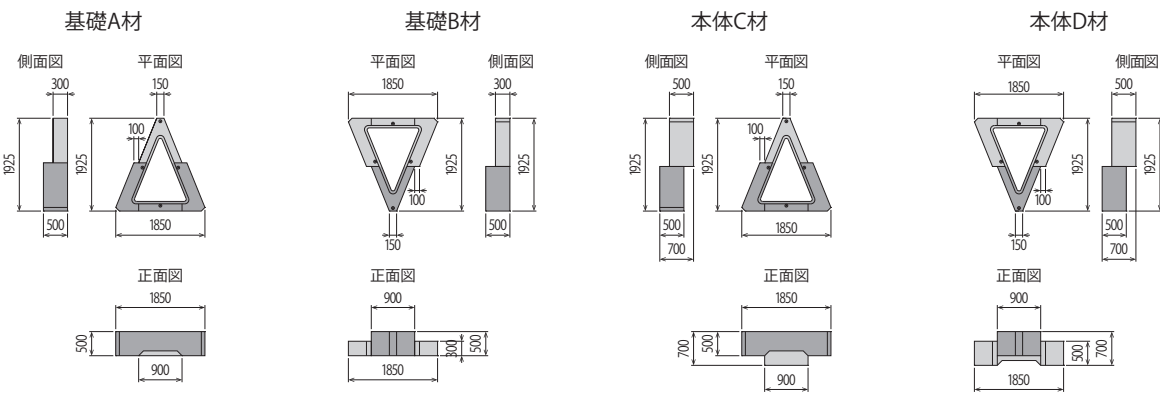
設計条件	コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	
	コンクリートの単位体積重量	$\gamma_c=23.0\text{kN/m}^3$	
	載荷重	$q=10.0\text{kN/m}^2$	
	地震係数	水平震度	$K_h=0.2$
		鉛直震度	$K_v=0.0$

※擁壁の安定については下表の土質条件のいずれかにより計算を行います。

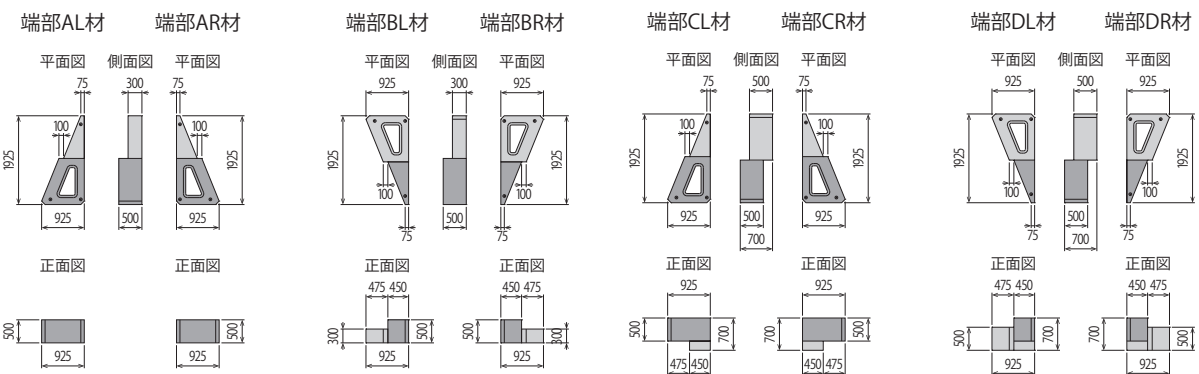
裏込土の種類	せん断抵抗角	土の単位重量
礫質土	$\phi=35^\circ$	$\gamma_s=20.0\text{kN/m}^3$
砂質土	$\phi=30^\circ$	$\gamma_s=19.0\text{kN/m}^3$

安定条件	項目	常時	地震時
	転倒に対する安定	$F_s=1.5$	$F_s=1.2$
	滑動に対する安定	$F_s=1.5$	$F_s=1.2$
	支持力に対する安定	$q_{max} \leq q_a$ (q_a :支持地盤の許容指示力度)	

形状寸法図

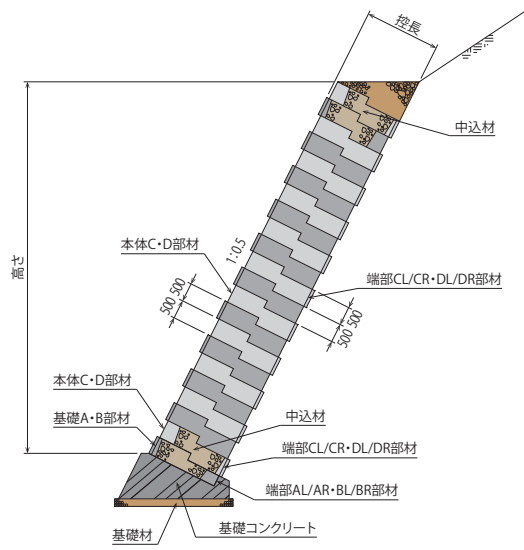


呼び名	幅×控長 (mm)	中込体積 (m ³ /基)	参考重量 (kg/基)
A	1850×1925	0.48	1,292
B		0.35	1,046
C		0.52	1,462
D		0.52	1,462

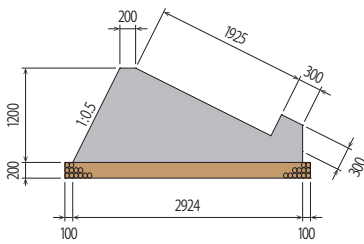


呼び名	幅×控長 (mm)	中込体積 (m ³ /基)	参考重量 (kg/基)
AL / AR	925×1925	0.11	793
BL / BR		0.07	662
CL / CR		0.11	909
DL / DR		0.11	909

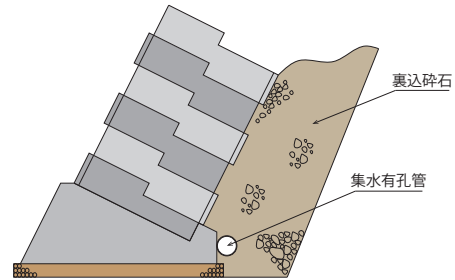
標準組立図



標準基礎図



基礎上面が逆勾配となり擁壁背面の排水を考慮し、
下図のように集水有孔管にて1ヶ所に集め排水を行います。



(10m当り)

法勾配	コンクリート (m ³)	型枠面積 (m ²)	基礎砕石 (m ²)
1:0.5	21.335	47.667	31.240

施工参考図

● 積み上げ参考図

